

## 長岡市対策本部 物流班（商業振興課）

訪問日：平成 16 年 11 月 25 日

訪問班：物流システム班（松本）

分類別：復旧・復興状況

キーワード別：道路、輸送、避難所

### 調査結果

- (1) 10 月 23~26 日、救援物資が企業等から送られてきた。おにぎり、水など 10、000 食、5、000 食と大口で届いた。市役所西口で朝、夜中 24 時間受け入れた。最初は市職員で、1 週間後には他自治体の職員やボランティアが担当した。入庫件数 46、500 件（11 月 16 日現在）。
- (2) 最大時の避難所 120 ヶ所、50、000 人で、配送は赤帽トラックに頼んだ。
- (3) 食糧品は市役所の車庫、生活必需品等は市立劇場、幸町分室、体育館、民間の倉庫等 8 ヶ所に及ぶ。
- (4) 多い物資は、乾パン、アルファ米、トイレットペーパー、ブルーシート、カセットボンベ、赤ちゃんおしりふき、ごみ袋、タオルなど。マスコミが寒いというと、毛布がどんと来る。
- (5) 個人からの小口物資については、ゆうパックを無料にするように頼んだ。衣類など多量に来た。分類整理が必要であり、粗末なものも入っており、義援金でいただく方がよい。
- (6) 国土交通省、県トラック協会が物流専門家を派遣してきたが、来て見ていただけの印象である。
- (7) 貯蔵されて救援物資は、重大な被害を受けた世帯に配給している。
- (8) 被災地に物資を直接持ち込むのは、効率的でない。被災地の外に、物資の種類、地域等で機能分担した物流デポ（センター）を設置するのがよい方法である。
- (9) 柿小学校・幼稚園・コミュニティセンターの避難所では、アクセス道路が狭く、車回しのスペースがなく、交通渋滞に苦勞した。避難所から車で通勤する人もいる。避難所の要件として、アクセス道路、物資の保管スペース、駐車場が必要である。